

カリキュラムマップ：社会学部 社会学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー							
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能			2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力			3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感	4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解
				(1)外国語や情報処理、社会人としての一般教養にくわえ、社会学の基本的な知識および、社会調査にかんする知識や調査実施の経験を有している。 (2)社会学のほかに、法律学や経済学など隣接学問分野にかんする広範な知識を有している。 (3)社会現象や社会の諸問題を分析するためのデータ処理等にかかわる技能を有している。			(1)当事者として考え、他者と自己を尊重しながら問題解決を模索することができる。 (2)地域における社会問題を解決し、地域住民とともに新たな社会を構想することができる。 (3)社会現象を分析し、問題の解決に向けての提言を効果的に発信することができる。			(1)演習や卒業研究（卒業論文または卒業作品）を通して、社会的に意義のある研究テーマに能動的・主体的に取り組み、将来に活かす意欲がある。	(1)多様性がもたらす豊かさとともに、そこから生ずる諸問題についての知識を有している。
NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP4(1)
1	社会学入門A	前期	講義	○							
2	社会学入門B	後期	講義	○							
3	社会学の諸相	前期	講義	○							
4	社会統計入門	後期	講義	○							
5	情報処理基礎Ⅰ	前期	演習	○							
6	情報処理基礎Ⅱ	後期	演習	○							
7	社会調査Ⅰ	前期	講義	○		○					
8	社会調査Ⅱ	後期	講義	○						○	
9	フレッシュマンセミナーA	前期	演習							○	
10	フレッシュマンセミナーB	後期	演習							○	
11	社会学演習Ⅰ	通年	演習						○	○	
12	社会学演習Ⅱ	通年	演習						○	○	
13	卒業研究	通年	演習						○	○	
14	歴史社会学	前期	講義			○	○				
15	家族社会学	後期	講義	○			○				
16	教育社会学	前期	講義	○			○				
17	格差社会論	後期	講義	○			○				
18	社会学理論A			○			○				
19	社会学理論B	後期	講義	○			○				
20	社会学史	前期	講義	○			○				
21	組織社会学	後期	講義	○			○				
22	情報と統計基礎実習	前期	実習			○			○		
23	量的調査法	後期	講義			○			○		
24	社会調査法	後期	講義			○			○		
25	成熟社会A	前期	講義		○	○					
26	成熟社会B	後期	講義		○	○					
27	社会調査実習	通年	実習	○			○				
28	Introduction to Sociology(外書講読)	後期	講義	○			○				
29	国際社会学	前期	講義								○
30	多文化社会論	後期	講義								○
31	ジェンダーの社会学A	前期	講義								○
32	ジェンダーの社会学B	後期	講義								○
33	文化人類学	前期	講義				○				○
34	文化社会学	後期	講義				○				○
35	ケアの社会学	後期	講義				○	○			

カリキュラムマップ：社会学部 社会学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー							
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能			2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力			3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感	4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解
				(1)外国語や情報処理、社会人としての一般教養にくわえ、社会学の基本的な知識および、社会調査にかんする知識や調査実施の経験を有している。 (2)社会学のほかに、法学や経済学など隣接学問分野にかんする広範な知識を有している。 (3)社会現象や社会の諸問題を分析するためのデータ処理等にかかわる技能を有している。			(1)当事者として考え、他者と自己を尊重しながら問題解決を模索することができる。 (2)地域における社会問題を解決し、地域住民とともに新たな社会を構想することができる。 (3)社会現象を分析し、問題の解決に向けての提言を効果的に発信することができる。			(1)演習や卒業研究（卒業論文または卒業作品）を通して、社会的に意義のある研究テーマに能動的・主体的に取り組み、将来に活かす意欲がある。	(1)多様性がもたらす豊かさとともに、そこから生ずる諸問題についての知識を有している。
NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP4(1)
36	環境社会学 A	前期	講義					○			
37	環境社会学 B	前期	講義				○	○			
38	宗教社会学	前期	講義								○
39	環境政策論	前期	講義		○			○			
40	都市社会学	前期	講義					○			
41	地域デザイン論	後期	講義					○			
42	地域社会学 A	前期	講義					○			○
43	地域社会学 B	後期	講義					○			○
44	福祉医療政策	前期	講義		○			○			
45	ソーシャルキャピタル論	前期	講義					○			○
46	地方自治				○			○			
47	地域福祉論	前期	講義					○			○
48	行政学	後期	講義		○			○			
49	財政学 A	前期	講義		○			○			
50	財政学 B	後期	講義		○			○			
51	情報社会論	後期	講義	○		○					
52	情報科学概論	前期	講義	○							
53	マスコミュニケーション論 A	前期	講義	○	○						
54	マスコミュニケーション論 B	後期	講義	○							
55	情報システム	前期	講義	○	○						
56	マルチメディア論	前期	講義	○							
57	統計解析基礎	前期	演習	○		○					
58	統計解析応用	後期	演習	○		○					
59	メディア社会	後期	講義	○						○	
60	ジャーナリズム論 A	前期	講義		○					○	
61	ジャーナリズム論 B	後期	講義		○					○	
62	心理学概論 A	前期	講義		○						
63	心理学概論 B	後期	講義		○						
64	スポーツ社会学	後期	講義	○			○				
65	スポーツ心理学	後期	講義		○					○	
66	ミクロ経済学 A	前期	講義		○					○	
67	ミクロ経済学 B	後期	講義		○					○	
68	マクロ経済学 A	前期	講義		○					○	
69	マクロ経済学 B	後期	講義		○					○	
70	キャリアの社会学	後期	講義		○						○

カリキュラムマップ：社会学部 社会学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー						
1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能				2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力			3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感		4.大学の建学の精神や大学の理念に対する理解	
(1)外国語や情報処理、社会人としての一般教養にくわえ、社会学の基本的な知識および、社会調査にかんする知識や調査実施の経験を有している。 (2)社会学のほかに、法学や経済学など隣接学問分野にかんする広範な知識を有している。 (3)社会現象や社会の諸問題を分析するためのデータ処理等にかかわる技能を有している。				(1)当事者として考え、他者と自己を尊重しながら問題解決を模索することができる。 (2)地域における社会問題を解決し、地域住民とともに新たな社会を構想することができる。 (3)社会現象を分析し、問題の解決に向けての提言を効果的に発信することができる。			(1)演習や卒業研究（卒業論文または卒業作品）を通して、社会的に意義のある研究テーマに能動的・主体的に取り組み、将来に活かす意欲がある。 (2)社会現象を分析し、問題の解決に向けての提言を効果的に発信することができる。		(1)多様性がもたらす豊かさとともに、そこから生ずる諸問題についての知識を有している。	

NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP4(1)
71	経営学概論A	前期	講義		○				○		
72	経営学概論B	後期	講義		○				○		
73	コミュニケーション論	後期	講義	○			○				
74	社会システム論A	後期	講義				○				
75	社会システム論B	後期	講義		○			○			
76	社会科学の歴史A				○						○
77	社会科学の歴史B				○						○
78	公共政策論	前期	講義		○				○		
79	行動分析学A	前期	講義		○						
80	行動分析学B	後期	講義		○				○		
81	国際関係論	後期	講義						○		○
82	サブカルチャー論	後期	講義				○				○
83	地域研究（アジア）							○			○
84	地域研究（中東）	後期	講義					○			○
85	教育心理学A	前期	講義		○						
86	教育心理学B	後期	講義		○				○		
87	環境経営	前期	講義		○				○		○
88	社会心理学A	前期	講義		○						
89	社会心理学B	後期	講義		○				○		
90	社会階層論	前期	講義				○				○
91	地域研究（北米）	後期	講義					○			○
92	地域研究（ヨーロッパ）	後期	講義					○			○
93	セクシュアリティ	前期	講義				○				○
94	エスニシティ	後期	講義				○				○
95	民法A	前期	講義		○						
96	民法B	後期	講義		○						
97	産業心理学A	前期	講義		○				○		
98	産業心理学B	後期	講義		○				○		
99	コミュニティ心理学	後期	講義		○				○		○
100	都市・地域政策論	後期	講義		○			○			
101	NPO／NGOの社会学	後期	講義		○		○				
102	地方財政論	前期	講義		○			○			
103	金融論	前期	講義		○						
104	産業社会学A	前期	講義		○				○		
105	産業社会学B	後期	講義		○				○		

カリキュラムマップ：社会学部 社会学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー							
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能			2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力			3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感	4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解
				(1)外国語や情報処理、社会人としての一般教養にくわえ、社会学の基本的な知識および、社会調査にかんする知識や調査実施の経験を有している。 (2)社会学のほかに、法学や経済学など隣接学問分野にかんする広範な知識を有している。 (3)社会現象や社会の諸問題を分析するためのデータ処理等にかかわる技能を有している。			(1)当事者として考え、他者と自己を尊重しながら問題解決を模索することができる。 (2)地域における社会問題を解決し、地域住民とともに新たな社会を構想することができる。 (3)社会現象を分析し、問題の解決に向けての提言を効果的に発信することができる。			(1)演習や卒業研究（卒業論文または卒業作品）を通して、社会的に意義のある研究テーマに能動的・主体的に取り組み、将来に活かす意欲がある。	(1)多様性がもたらす豊かさとともに、そこから生ずる諸問題についての知識を有している。
NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP4(1)
106	消費者政策	後期	講義		○				○		
107	観光社会学	前期	講義		○				○		
108	行政法	前期	講義		○						
109	子ども福祉論	後期	講義		○		○				○
110	障がい福祉論	後期	講義		○		○				○
111	心理学基礎実験 A	前期	実習		○	○					
112	心理学基礎実験 B	後期	実習		○	○					
113	マスコミ史	前期	講義		○						
114	臨床心理学	前期	講義		○						○
115	心理統計学	後期	講義		○	○					
116	情報ネットワーク	後期	演習	○						○	
117	広告論	後期	講義		○				○		
118	ビックデータ論					○					
119	コンテンツ産業論	前期	講義		○						
120	プログラミング基礎	前期	演習	○							
121	プログラミング応用	後期	演習			○					
122	ネットワークコンピューティング	後期	演習			○			○		
123	知的財産法	後期	講義		○						
124	実験社会心理学 A	前期	実習		○				○		
125	実験社会心理学 B	後期	実習		○				○		
126	情報処理実習	前期	実習	○		○					
127	社会学特殊講義Ⅰ	前期	講義						○		○
128	社会学特殊講義Ⅱ	前期	講義								○
129	キャリア支援特殊講義Ⅰ	前期	講義		○				○		○
130	キャリア支援特殊講義Ⅱ	後期	講義	○							
131	キャリア支援特殊講義Ⅲ	前期	講義	○							
132	キャリア支援特殊講義Ⅳ	後期	講義	○							
133	キャリア支援特殊講義Ⅴ				○						
134	キャリア支援特殊講義Ⅵ	後期	講義		○						
135	キャリア支援特殊講義Ⅶ	前期	講義		○						○
136	キャリア支援特殊講義Ⅷ	前期	講義		○		○				
137	インターンシップ	後期	実習								○
138	社会活動Ⅰ	通年	実習				○				
139	社会活動Ⅱ	通年	実習				○				
140	社会活動Ⅲ	通年	実習				○				○

カリキュラムマップ：社会学部 社会学科（2022年度）

				ディプロマ・ポリシー									
				1.豊かな教養と専門知識およびそれを活用する技能			2.他者との共同による問題発見・解決能力とそれを支える思考・判断・表現力			3.自律的学習者として学び続け、社会に貢献する意欲と能力、社会の担い手としての使命感		4.本学の建学の精神や本学の理念に対する理解	
				(1)外国語や情報処理、社会人としての一般教養にくわえ、社会学の基本的な知識および、社会調査にかんする知識や調査実施の経験を有している。 (2)社会学のほかに、法学や経済学など隣接学問分野にかんする広範な知識を有している。 (3)社会現象や社会の諸問題を分析するためのデータ処理等にかかわる技能を有している。			(1)当事者として考え、他者と自己を尊重しながら問題解決を模索することができる。 (2)地域における社会問題を解決し、地域住民とともに新たな社会を構想することができる。 (3)社会現象を分析し、問題の解決に向けての提言を効果的に発信することができる。			(1)演習や卒業研究（卒業論文または卒業作品）を通して、社会的に意義のある研究テーマに能動的・主体的に取り組み、将来に活かす意欲がある。		(1)多様性がもたらす豊かさとともに、そこから生ずる諸問題についての知識を有している。	
NO	科目	開講期間	授業形態	DP1(1)	DP1(2)	DP1(3)	DP2(1)	DP2(2)	DP2(3)	DP3(1)	DP4(1)		
141	海外研修 A	後期	実習				○	○					
142	海外研修 B	後期	実習				○				○		
143	国内研修 A	前期	実習				○	○			○		
144	国内研修 B	前期	実習				○	○			○		
145	時事英語 1	前期	演習	○									
146	時事英語 2	後期	演習	○									
147	時事英語 3	前期	演習	○									
148	英語で読む現代社会	後期	演習	○									
149	実用コミュニケーション英語 1	前期	演習	○									
150	実用コミュニケーション英語 2	後期	演習	○									
151	実用コミュニケーション英語 3	前期	演習	○									
152	実用コミュニケーション英語 4	後期	演習	○									
153	海外英語研修	通年	実習	○									